

愛知・名古屋 2026 アジア・アジアパラ競技大会 マスコット紹介！！

来年開催される、愛知・名古屋 2026 アジア・アジアパラ競技大会に向けて、当館では、大会情報をブログで紹介して盛り上げていきたいと考えています。

今回は、第 20 回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)のマスコットのプロフィールを紹介します。「ホノホン」です！アスリートたちの心に宿る熱い思いが「炎」となり愛知・名古屋の守り神であるシャチホコとひとつになって誕生しました。



「ホノホン」という名前は、炎の語源とされる「火の穂（ほのほ）」、これは火が高く立ち上がってメラメラと燃える様子が穂（稲穂の“穂”）のようだからというところから来ていますが、そこから親しみやすさも込めて「ホノホン」と名付けられました。

愛知・名古屋は、歴史的にも文武芸に秀でた傾奇者（“かぶき”もの）を生み出してきた地です。ここから着想を得て、ホノホンの目の周りには歌舞伎（“かぶき”）のような赤い隈取りがあしらわれています。

ホノホンのチャームポイントは、大きな目とシャチホコのような耳。

大きな目はアジア中のアスリートたちの活躍をいつでも見守ることができます。シャチホコのような耳はアジア中の子どもたちの笑い声やアスリートへの声援を聴き取る不思議な力をもっています。そのスポーティなスタイルは、色々な競技に対応することができます。また、ホノホンが手を振ると、たちまち皆を笑顔にします。このように、ホノホンは愛知・名古屋 2026 大会を演出するスポーツマンであり、サポーターであり、応援リーダーなのです。

そんなホノホンも愛知・名古屋 2026 大会を通じて人々の心に宿る熱い炎が“IMAGINE ONE ASIA”ここで、ひとつになることを願っています。皆さんも熱い声援を送ってくださいね。